

【指標作成にあたっての参考例】

学生育成目標	学生育成目標から抜き出した項目	課外活動で身についた力
(1)多様な価値を尊重し、他者との対話と協働を重視し、「平和と民主主義」の価値観に裏打ちされた自律的な思考と行動ができる	多様な価値観	社会適応力、受容する力、相手の立場になって考える力
	他者との対話と協働	コミュニケーション力、統率力、会話力、聞く力、プレゼン力、協調性、チームワーク力、交渉力、発信力、伝達力、説得力、仲間と連携する力、電話対応力、コミュニティ運用・形成力、交際力、話し合う力、サポート力 他人を思いやる力、周りを信頼する力、気配り・気遣い、寛大さ、寛容さ、愛想、柔軟力、仏の心力、異世代とのコミュニケーション力
	自律的な思考と行動	行動力、積極性、実行力、セルフマネジメント、能動的な活動する力、主体性、自立、自主性、計画力、スケジュール管理、時間管理（タイムマネジメント）、判断力、決定力、先を見て行動する力、決断力、物事を整理する力、優先順位、学業・部活動との両立、リスクマネジメント力、メール・リテラシー
(2)幅広い教養と専門性を有し、グローバルとローカルの視点を備え、既存の枠組みや境界を超えた「自由」で「清新」な思考と行動で問題発見・解決ができる	グローバルとローカルの視点を備える	客観視する力、異文化理解、視野の広さ、俯瞰力、視野を広げる力
	既存の枠組みや境界を超えた自由で精神な思考と行動	チャレンジ精神、企画力、想像力、生み出す力、アイデア力、発想力、創造力、新しいものを作る、コラボする力、イノベーション力、好奇心、0→1力、想像力
	問題発見・解決	論理的思考力、臨機応変に対応する力、リサーチ力、分析力、トラブル解決力、課題発見力、理解力、情報収集力、問題処理能力、知識探究力、突破力、予想力
(3)自己を理解し、自らの役割や課題を踏まえた責任ある思考と行動ができる	自己理解	自己分析、自分に向き合うこと、自分に足りないところを認めること、自己PR力、セルフマネジメント
	役割理解・課題理解	観察力、課題解決力、仕事の分配、調整力、議論の仕方、認識力、人材割り振り力、要求の分析、ニーズを汲み取る力
	責任	リーダーシップ力、指導力、マネジメント力、責任感、人を動かす力、指揮する力、管理する力
(4)「未来を信じ、未来に生きる」高い志を持ち、生涯にわたって学び、行動し続けることができる	「未来を信じ、未来に生きる」高い志	発言力、表現力、影響力、努力を続ける力、熱い気持ちをもつ力、極め力、やり遂げる力
	生涯にわたって学ぶ	楽しむ力、ポジティブシンキング、感謝、マナースキル、ほどよくさぼる力、好きなことをする力、力をぬく
	行動し続けることができる	忍耐力、あきらめない力、モチベーション管理、集中力、根性、精神力、ストレス耐久力、自分の精神を保つ力、体力、フットワーク、バイタリティ